

>>>>>>>>> 糖尿病を持つ方、血糖値が高い方<sup>\*1</sup>にオプション検査のご案内 <<<<<<<<<<

# 年1回のNT-proBNP測定で、 心臓の状態を知っておこう。

追加の採血は不要です!

※1:耐糖能異常の方

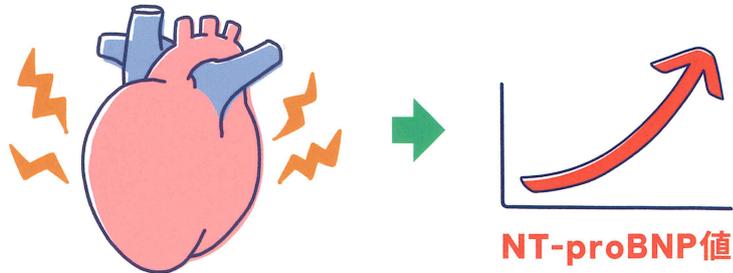
監修:新潟大学大学院 生活習慣病予防・健診医学(健診・人間ドック学)講座 特任教授/新潟県労働衛生医学協会 理事 加藤 公則 先生

## 血液検査でNT-proBNPを測定して、心臓の状態を確認しましょう!

NT-proBNPは、心臓の状態(心不全の重症度)を反映するバイオマーカーです。

心臓にストレス(負荷)がかかった状態が続くと、心臓から分泌されるNT-proBNPの値が上昇します。

》心臓のストレス  
(負荷)



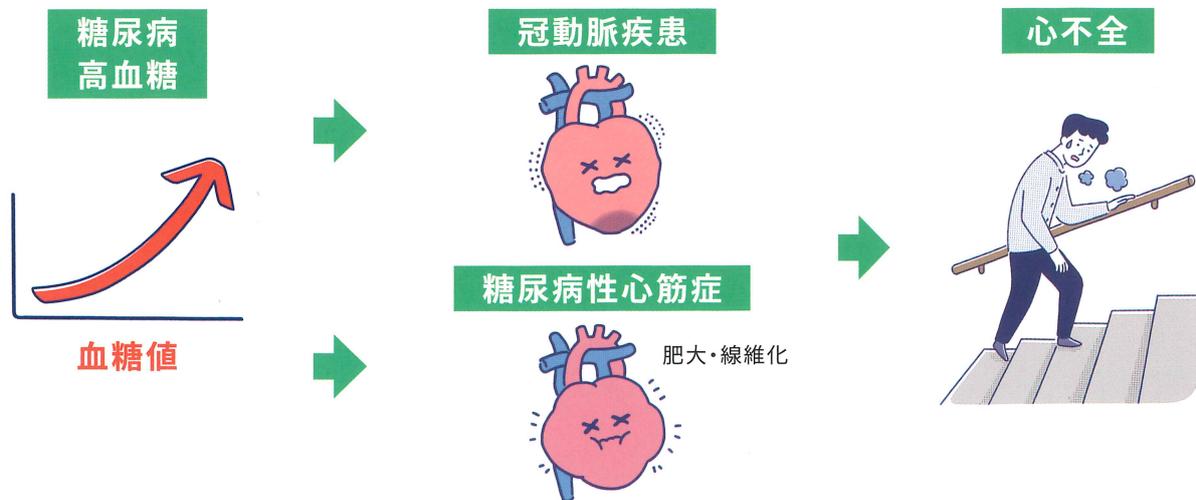
## 糖尿病を持つ方や血糖値が高い方は、心不全のリスクがあります!

心不全とは、心臓が悪いために息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気です。<sup>\*2</sup>

糖尿病を持つ方において心不全の合併率は高く、全体では37.0%におよびます。<sup>\*3</sup>

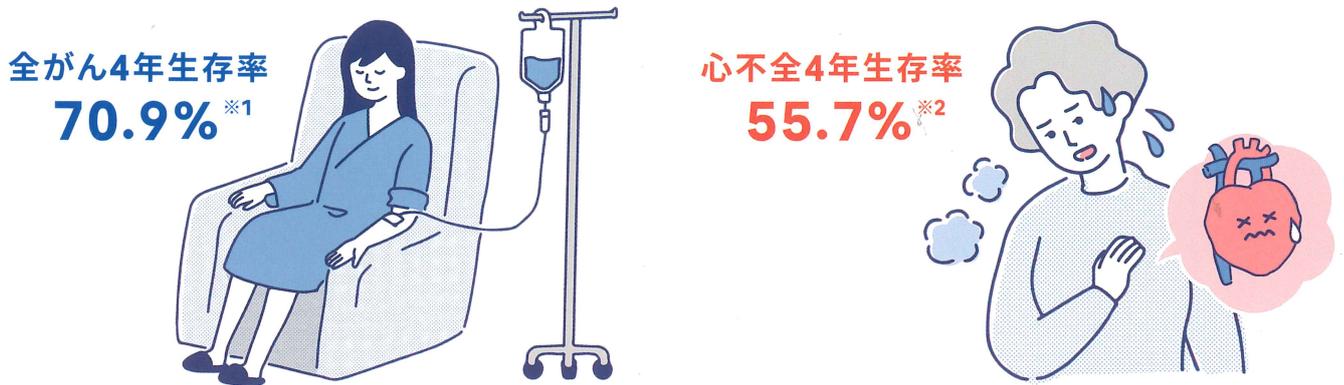
またその発症リスクは、非糖尿病の方に比べて男性で2倍、女性では5倍を超える<sup>\*4</sup>とされているので注意が必要です。

※2:急性・慢性心不全診療ガイドライン(2017年改訂版) ※3:Circulation. 2004 Sep 21;110(12):1572-8. ※4:Am J Cardiol. 1974 Jul;34(1):29-34.



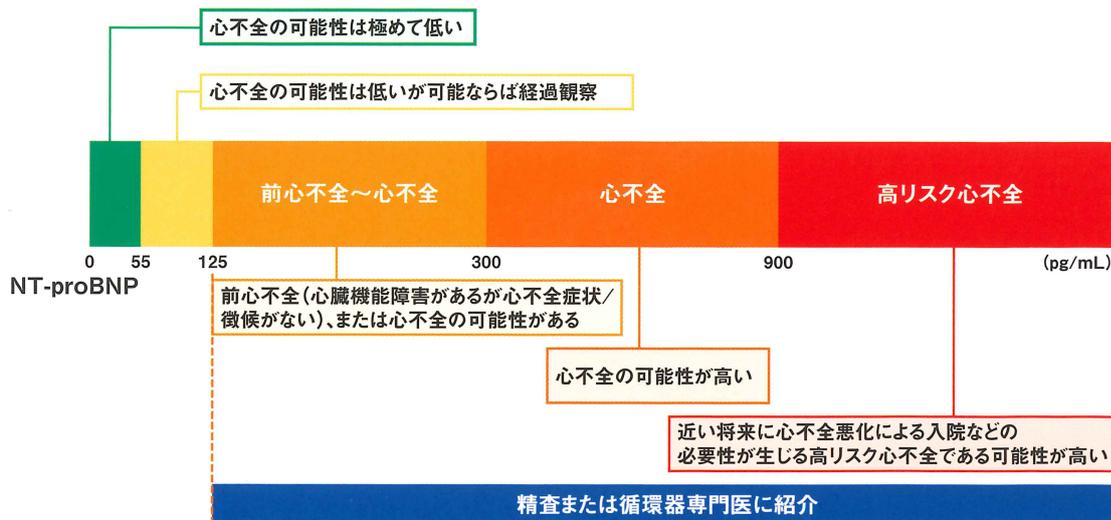
## 心不全患者の生命予後を知っていますか!?

一般的に心不全患者さんの生命予後は不良であるといわれています。過去のデータでは、全がん患者さんの4年生存率は70.9%であるのに対して、心不全患者さんの4年生存率は55.7%であり、がんと比較して悪い結果となっています。



※1: 全国がんセンター協議会の生存率共同調査(2011-2013年集計)による ※2: JROADHF研究(2013年登録患者(院内死亡を除く)実測生存)

## 健診オプションの“NT-proBNP”検査で、あなたの心不全発症リスクを知ることができます。



【転載元】 血中BNPやNT-proBNPを用いた心不全診療に関するステートメント2023年改訂版  
図2 BNP/NT-proBNPを用いた心不全診断や循環器専門医への紹介基準のカットオフ値  
日本心不全学会転載許諾取得



心不全は症状がないまま、気づかないうちに進行することも多いため、**症状がなくても年に1回、NT-proBNPなどのナトリウム利尿ペプチドを測定することが推奨されています。**※3

※3: 日本循環器病学会・日本糖尿病学会 糖代謝異常者における循環器病の診断・予防・治療に関するコンセンサスステートメントより引用

詳しくはこちらから

